

バローお茶売り上げの1%

災害対応活動に寄付

J C 東海協定

バローと日本青年会議所
東海地区協議会は2日、バ

ローのプライベートブラン
ド(PB)商品の売り上げ
の一部を同協議会の災害対
応活動資金に充てる協働チ
ャリティー事業を行うと発
表した。同時に、災害時の
物資調達を定めた災害協定
も締結した。期間は当面4

活動や災害教育といった活
動を行う。
対象商品はバローが販売
する分で、昨年度実績で年
間約1千万本、売り上げは
3億6千万円だった。同社
によると、PB商品の売り
上げに応じた継続的な社会
貢献事業は初めて。

年間とし、その後も継続す
る予定。
チャリティー事業は、バ
ローのVセレクトの「お
茶」、「烏龍茶」500ミ
リペットボトルの売り上げ
の1%を同協議会に寄付す
る。同協議会は、東海4県
で被災時のボランティア活
動やその支援、日頃の啓発

チャリティー事業は、バ
ローのVセレクトの「お
茶」、「烏龍茶」500ミ
リペットボトルの売り上げ
の1%を同協議会に寄付す
る。同協議会は、東海4県
で被災時のボランティア活
動やその支援、日頃の啓発

災害協定は、災害時に同
協議会が日本青年会議所か
らの支援金をもとにバロー
に救援物資の調達を依頼。
同協議会が仕分けや輸送を
担う。

締結式は多治見市音羽町
の中之郷テラスで開かれ、
同協議会の鳴海宏樹会長と
田代正美バロー社長が締結
書に署名した。鳴海会長は
「一緒に地域を盛り上げて
いきたい」とあいさつ、田
代社長は「行政の縦の線だ
けでなく、横の線も重要。
地域と密着し、いろいろな
団体と一緒に頑張って解決し
ていきたい」と話した。